

水素燃料電池自動車の安全性に関する世界統一基準の概要

●2007年6月

国連欧州経済委員会 (UN/ECE) 自動車基準調和世界フォーラム (WP29) において、日本、ドイツ、米国を共同議長として「水素燃料電池自動車の安全性に関する世界統一基準案 (HFCV-GTR)」の議論を開始することが承認された。

●2013年6月

自動車基準調和世界フォーラム第160回会合において、水素燃料電池自動車の安全性に関する世界統一基準が採択された。

主な基準内容

水素漏れ防止	・排気される気体の水素濃度が4%を超えないこと。
感電防止	・高電圧の電気装置に直接接触できないよう被覆すること。
衝突時安全性	・車両衝突後60分間の水素放出が、1分当たり118NL ※を超えないこと。
水素タンク強度	・22,000回の圧力サイクルに耐える耐久性を備えること。

※NL:ノルマルリットル(0度1気圧時の容量)

